

問1 顕微鏡で、接眼レンズの数字と対物レンズの数字をかけ合わせたもののことを何といいますか。

問2 花が咲いたあとに、めしべのもとがふくらんで実ができるために、必ず行われなければならないことは何ですか。

問3 ヘチマと同じように、めばなとおばなの2種類の花が咲く植物はどれですか。

問4 おしべとめしべが1つの花の中にある特徴をもつ植物はどれですか。

問5 めしべの先がねばねばしているのは、どのような理由からですか。

問6 顕微鏡で観察するときに、観察するものをのせたスライドガラスをステージに置き、クリップでとめたもののことを何といいますか。

問7 花粉がおもに風によって運ばれる植物の組み合わせは何ですか。

問8 メダカやヒトなどの動物で、めすのたまごにおすの精子が結びつくことを何といいますか。

問9 ヘチマの花のうち、めしべがあるのはどの花ですか。

問10 スギやマツ、トウモロコシなどの花で、花粉が風で運ばれやすいよう軽くなっている特徴を持つ花を何と呼びますか。

問11 接眼レンズの数字が10で、対物レンズの数字が40のとき、顕微鏡の倍率は何倍になりますか。

問12 おしべの先にある「やく」という部分では、何がつくられますか。

問13 めしべのもと部分には、どのような特徴がありますか。

問14 花がさいたあと、成長して実になる、ふくらんでいる部分はどこですか。

問15 おしべの先にある花粉の入ったふくろから花粉が出てくるとき、そのふくろはどのようなになりますか。

問16 ヘチマなどの植物で、めばなにはどのような特徴がありますか。